



6月 町屋幼稚園だより

令和5年5月31日
荒川区立町屋幼稚園
園長 高田 大

交流遠足を実施しました

園長 高田 大

連休も明けた5月のある日、荒川区のキャラクター「あら坊」から幼稚園に手紙が届きました。その手紙は「荒川自然公園はよいところだから遊びに来てね」という内容でした。そこで町屋幼稚園のみんなは荒川自然公園へ遠足に行くことにしました。公園につくと、同じようにあら坊から手紙をもらって遠足に来ていた南千住第三幼稚園のお友達と出会いました。「一緒に遊びませんか。」「いいですよ。」こうして町屋幼稚園と南千住第三幼稚園、2つの園が一緒に遠足を楽しむことになりました……。



というのが、5月12日に行われた交流遠足の筋書きです。初の試みでしたが教職員同士もリモート会議等で打ち合わせを重ね、今回実現に至りました。園長先生を始め南千住第三幼稚園の先生方に改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

とは言え実施前は計画を立てた教職員にも不安はありました。初めて会う子どもたち同士親しくなれるだろうか、知っている自園の友達同士で固まってしまうのではないだろうか……。

しかし、始めてみればそれらはすべて杞憂に終わりました。体操やしっぽ取りゲームで思い切り体を動かして遊んだ子どもたちは、そのあと数人ずつのグループで園内散策をする頃にはもう名前呼び合うくらい親しくなっていました。一日一緒に過ごした子どもたちは、お別れの時には名残を惜しんでいつまでも手を振り続ける姿も見られました。

人間関係は、幼稚園で経験させたい大きな領域の一つです。日頃の園生活でも友達や先生との触れ合いを大切にしていますが、新しい人々との出会いは子どもたちをまた一段と成長させてくれます。この度の感染症対策の緩和も受け、より多くの出会いが訪れるよう、機会を求めていきたいと思えます。

《今月のねらい》

- 【年中】
 - 友達と触れ合い、一緒に遊ぶことを楽しむ。
 - 水や泥の感触を楽しんだり、梅雨時の自然に触れたりする。
- 【年長】
 - 思ったことや感じたことを出し合いながら、友達と遊びを進めていく楽しさを感じる。
 - 夏の季節の変化に気づき、自然に触れたり遊びに取り入れたりする。



☆「遊び」と「学び」をつなぐ幼小の円滑な接続を目指して☆

町屋幼稚園と第七峡田小学校は令和元年度より東京都教育委員会及び荒川区教育委員会のモデル園・モデル校として、「就学前教育と小学校教育の円滑な接続」を目指した取組をしています。すでに、小学校の運動会の練習を見せてもらったりしていますが、今年度も年間を通して様々な活動を行います。いるか組は5年生と交流したり、ラボの部屋に遊びに行ったりして楽しんでいます。子どもたちの「小学校ってすてきなところだな。」「お兄さんお姉さんてすごい！」という憧れは、小学校生活への期待を高めます。一つ一つの活動がよりよいものとなるよう、引き続き、教員同士が学び合い工夫していきたいと思えます。

